



【発信日】令和5年5月23日

【問い合わせ先】

乾側公民館 館長 松本高志

電話 0779-66-3756

醍醐寺交流事業の実施について

～地域の子どもたちが乾側米を通じて地域の歴史を学びます～

乾側をよくする会が、令和2年度末に乾側小学校が閉校するまで学校行事として取り組んできた京都市醍醐寺及び京都市立醍醐小学校との交流事業を、昨年度に引き続き実施します。

まずは、乾側地区小中学生が「乾側っ子田（いぬいかわっこでん）田植え」で水稻の苗を手植えします。なお、秋に収穫するもち米は、醍醐寺へ奉納、醍醐小学校へ贈呈する予定です。

つきましては、当日の取材をお願いいたします。

記

- 日時 5月27日（土）午前9時から午前10時30分ころまで
※雨天中止（前日に可否決定します。）
- 場所 乾側っ子田（旧乾側小学校プール北側）
- 主催 乾側をよくする会
- 内容
 - ・地域の歴史学習
 - ・乾側地区児童・生徒による田植え
- その他 醍醐寺及び醍醐小学校との交流履歴は別紙のとおり

1. 旧乾側小学校と京都市醍醐寺及び京都市立醍醐小学校との交流事業の概要

- 平成 22 年度から令和元年度まで、醍醐小 5 年児童が毎年、乾側小学校を訪問し、田植え交流を実施。11 月中旬には乾側小の児童代表が収穫したタンチョウ餅米を醍醐寺に奉納、醍醐小に贈呈するため訪問。
- 隔年で行う乾側小学校の修学旅行で 5・6 年児童が世界遺産醍醐寺を訪問。

2. 交流の経緯

年度	内容
平成 16 年	乾側小の児童が、総合学習の時間に乾側地区が京都醍醐寺の荘園であったことを知り、それが縁となり 6 年生が修学旅行で醍醐寺訪問を開始
平成 20 年	乾側小が学校田でとれたタンチョウ餅米をはじめて醍醐寺に奉納
平成 21 年	醍醐寺で醍醐小学校の校長・児童代表と乾側小の校長や児童代表らが面会し、両校の交流が開始
平成 22 年	醍醐小 5 年児童が乾側小を訪問。学校田の田植えを共同で実施
平成 23 年	乾側小 5・6 年児童が修学旅行で醍醐小を訪問。7 月に醍醐小 5 年児童が乾側小を訪問
平成 24 年	醍醐小 5 年児童 84 名と乾側小児童が田植え交流 11 月に収穫した餅米を醍醐寺に奉納、醍醐小へ贈呈
平成 25 年	醍醐小 5 年児童 69 名と一緒に乾側小児童が田植え交流 乾側小 5・6 年児童が修学旅行で醍醐寺を訪問し、餅米を奉納
平成 26 年	田植え交流時に乾側米の「おにぎり給食」をみんなで食べる
平成 29 年	田植え交流時に乾側米で作った「アバンセ乾側」の米粉パンを給食に提供
平成 30 年	田植え交流時に乾側米で「セルフおにぎり給食」を実施
令和元年	交流 10 周年記念。田植え交流・交流給食・10 周年記念式典・交流会を実施 5 月の修学旅行で 5・6 年児童が醍醐寺を訪問 10 月に醍醐寺より贈呈される桜の苗木を記念植樹実施 11 月全校児童と保護者、教職員が京都を訪問し、餅米を醍醐寺へ奉納、醍醐小に贈呈。雨乞い踊り保存会と共に「雨乞い踊り」も奉納 乾側小の醍醐寺訪問に合わせ、乾側をよくする会が「醍醐寺訪問ツアー」開催。 醍醐寺に奉納された餅米が「五大力尊仁王会（ごだいきそんにんのうえ）」の巨大な紅白鏡餅となる。2 月頃に切り餅が届く
令和 2 年	コロナの影響により、乾側小学校のみで田植え、稲刈り、奉納（郵送）
令和 3 年 3 月 31 日	乾側小学校が下庄小学校と統合
令和 3 年	乾側をよくする会が醍醐寺交流事業を継承 田植え⇒雨天中止 稲刈り⇒地区児童で実施 奉納・贈呈 ⇒ 醍醐寺、醍醐小学校へ郵送
令和 4 年	乾側をよくする会が醍醐寺交流事業を実施 田植え・稲刈り⇒地区児童で実施奉納・贈呈⇒醍醐寺、醍醐小学校へ郵送